

一般質問



働く場はU・イターンや人口減少対策で最も大事！

新風会・公明

竹内和順が問う

働く場の確保について

Q 持続可能なまちを実現するためには、働く場の確保が不可欠。起業・異業種転換など既存産業の活性化と新規企業の誘致を図るとともに、就業地の広域化が求められる。

福井市のベッドタウンとして勝山市を捉えるならば企業の選択の幅は広がる。市の見解を伺う。

A U・イターン者や若者が市外に就職した

場合においても、快適に安心して勝山で生活できるよう支援していく。

高齢者の交通サービスについて

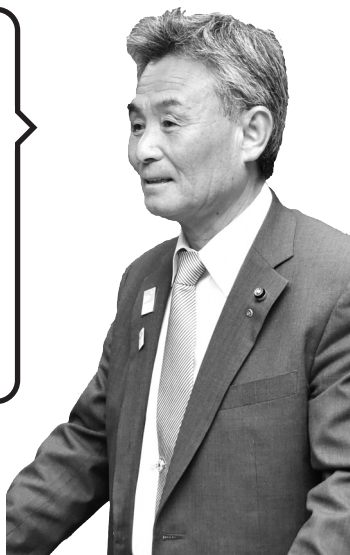
Q 自ら運転できない高齢者や家族のサポートが受けづらい高齢者が増加し、買物や通院に支障をきたしている。「運転免許証を返上したけれど」との声も聞く。

勝山市において、公共交通機関のあり方、電動カートの普及のための道路整備や歩道整備等、高齢者の交通サービスについて見解を伺う。

A 現在、「バスの乗り方教室」や「わたしの時刻表作成サービス」など、利用者の利便性の向上と利用促進を図っている。今後も公共交通機関の利便性を高め、多くの市民に使用してもらえような公共交通体系の構築に努める。道路整備については、今回平泉寺境内に設置した路面標示の安全性を検証後、他道路への整備について検討する。

〔その他の質問〕

- 杉本県政との連携について
- 平泉寺、勝山城下町日本遺産認定について
- 小中一貫教育について



市民へ明確な情報提供を

新風会・公明

吉田清隆が問う

勝山市立中学校再編計画について

Q 勝山市立中学校再編検討委員会が昨年末から開催が中断したままとなっているが、スケジュールに狂いが出てくるのではと思う。

中部中学校での統合で進んでいるように感じるが、スクールバスや教職員、駐車場の確保はできるのか。また、特別教室の分だけ仮校舎が必要とのことだが、仮設校舎の建設費用は整備が終われば仮校舎を取り壊すことになる。経費

の削減を考慮し、新築という選択も考えられるため検討をお願いする。

今後市民の方々への情報提供をどのようにされるのか伺う。

A 再編統合する新しい中学校が現在の中部中学校敷地に立地する場合の駐車場問題や仮校舎の問題については、学校敷地および周辺道路に余裕がないという基本的な課題があり、問題解消には、それぞれ相当の工夫や努力を要するものと考えている。

市民への情報提供のあり方については、検討委員会から答申をいただいた後、その内容について市民に情報提供できるように考えていきたい。

〔その他の質問〕

- 避難所の課題について
- これからの学校施設の老朽化対策について



現在の勝山市立中部中学校



市民生活に必要な予算を優先すべき

市議会

帰山寿憲が問う

各種事業と市民生活とのあり方について

Q 長尾山総合公園、道の駅の整備などが続くが、一昨年は漏水や取水不足により断水が発生し、道路維持管理費は減少が続いている。観光関係予算が一定のラインを超えて、市民生活に影響を与え始めているのではないか。

A 道路維持管理について、年度によっては補助事業があるので、補助事業を活用して市の負担を抑えるということを考えている。

特に国はここ数年、道路の維持管理に長寿命化ということ 키워ドにして手厚い財政支援をしているので、これらをしっかりと運用することで、財源を確保しながら道路維持管理が手薄にならないように心がけていきたい。

また、勝山市における各事業の予算は、個別事業ごとの内容を精査し、それぞれを積み上げていく形の予算となっている。観光の予算を増やすために他の予算を削るという手法はとっていない。

〔その他の質問〕

- 各種事業の計画のあり方について



工事が進む「道の駅恐竜渓谷かつやま」